

地震による揺れの被害について

地震の震度

震度と被害の関連をまとめた下の「気象庁震度階級関連解説表(一部抜粋)」を参考に、表示された震度に対して実際にどのような被害が発生しそうか、自分の家は安全か確かめてみましょう。

震度0 0~0.4

地震計のみに表れ、人は揺れを感じない。



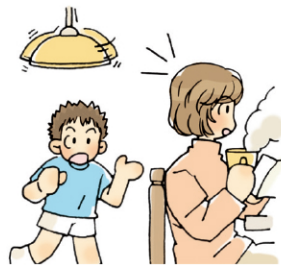
震度1 0.5~1.4

敏感な人や静止している人がわずかな揺れを感じる。



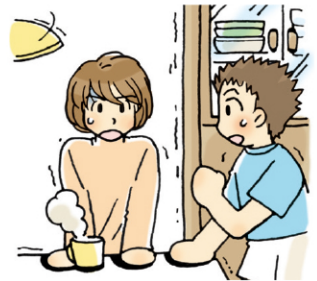
震度2 1.5~2.4

屋内にいる人の多くが、揺れを感じる。電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。



震度3 2.5~3.4

屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。棚にある食器類が、音を立てることがある。



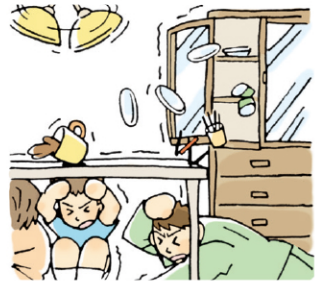
震度4 3.5~4.4

かなりの恐怖感があり、一部の人、身の安全を図ろうとする。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。



震度5弱 4.5~4.9

多くの人、身の安全を図ろうとする。つり下げた物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。



震度5強 5.0~5.4

多くの人、行動に支障を感じる。変形によりドアが開かなくなることがある。



震度6弱 5.5~5.9

立っていることが困難になる。かなりの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損し、落下する。



震度6強 6.0~6.4

立っていることができず、はわないと動くことができない。



震度7 6.5~

耐震性の高い建物でも傾いたり、大きく破損するものがある。

